



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

/

私は原爆先生の特別授業を受けて、改めて戦争が残っていたものを見ることができました。社会の授業で日本の歴史を学びました。そこで受けるようげきもありましたが、今回のようげきは何かちがいました。社会の方のようげきは何も知らない事からのおどろきでしたが、今回のようげきは学んでからのおどろきでした。

今回は耳をぶさぎたくなるようなお話もありました。けれどそれだけを受けとめるのではなく、それを知ることによって新しい事が見えてくるのだと思いました。人を人じゃないような悲しい姿にする兵器をなぜ伝ったのか聞きたいです。

ただ戦争だったから、なんて答えを返してきたらこれまで原爆でなくなってしまう。人々になんていえばいいかわかりません。ゆいー、原爆を落とされた日本にからこせわかるくらい気持ち、無残さがあるはず。そして、もし日本までもか忘れてしまうことは絶対にいけないと思います。

人はこれまで戦争をしてきて、やりすぎたと思います。今も紛争が絶えません。そして、戦争が終わった時にわかる状況、感じたことが大切だと思うのです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

265

今日は、授業をありがとうございました。私は今まで、広島と長崎に原爆がおとされたという事実はしていましたが、それがどれほどのいかのもので、どのような被害があったのかということはほとんど知りませんでした。何より、その出来事に関わった一人一人の心情など考えてみたこともありませんでした。しかし今回の授業を受けた事によって、原爆というもののおそろしさを知ることができました。特に、たった1kgしかねんしょうしていなかったという事をきいておどろきました。1kgで広島のを街をかいめっさせたのですから、今の技術を使えばどうなってしまうのか...とでもおそろしく感じました。

私は、今まで戦争なんて遠い昔におこった出来事しか考えていませんでした。それによってたくさんの方が苦しんだことなど、想像もしていませんでした。しかし、そうではないのだという事を今回の授業で知ることができました。歴史とは、総理大臣とか軍の司令部とか、そんな有名な人だけできつく、いるのではありません。その時存在した一人一人の目から見た時私たちのならた歴史はどのようにうつっているのだろうか、と考えさせられました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

貴重な話を、ありがとうございます。  
実際に体験することでの、生々しさ、  
ひさんさかによく分かりました。

60kgのウランのうち、もし60kg全部かねん  
焼していたら... と考えると、恐ろしさに  
身ぶるいがかかります。

また、今色々な国が持っている核  
兵器のい力を考えると、大変怖い  
です。

私はまた「原爆ドームを見たことか  
ない」ので、実際に行き、原爆ドームを  
見たいです。

あまり、こういうお話をきける機会は  
少ないので、本当にありがとうございます。

ごさいました。このことを心にきこみ  
つけ、日々を大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

2月25日は、光塩女子学院で原爆の、為になるお話をありがとうございました。実体験をした方の(日記の)お話は、生々しいものも多く聞いているのが、苦しくなるところもたくさんありました。ですが、私が感じたような「かわいそう」「いたさう」「つらい」というものより、はるかに大きい悲しみ、痛み、つらさを感じていたのだらうと思いました。私は、これまで「広島に原爆が落とされた」という事実しか知りませんでした。今回、この説明を聞いて、その事実を顔も背けたくくなりました。ですが背けてはいけない事実だと思うので、原爆ドームに行き、現実と向き合ってみようと思いました。今は、平和になりましたが、世界中が平和なわけではありません。アメリカ、ロシア等の核兵器保有などは危険なのでやめてほしいです。もしそれを使ったら、広島以上の被害があります。原爆の被害を受けたのは日本が最初で、最後です。(今のところは)「広島のような悲しい出来事は、もう2度とくり返さない」してほしいと思います。そのために私たちができることもきっとあると思うので、考えて実行していきたいです。原爆の悲惨さを、今度は私が次の世代の人に伝え、二度とこんなことが起きないようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆についてお話を頂戴したいが、聞くと私が知らない事ばかりで、原爆について、お話を聞いてみたいのだと思いはじめられました。

広島、長崎以外に候補になった都市があることを始めに知りました。

そして、広島、長崎の天候が悪ければ、落ちたはずにおもひながら、お話を聞きました。6000℃の太陽より高温熱さを持つ原子爆弾に

おどろきました。そして、人間を一瞬で消してしまうのです。そして、破壊がいかに、広島市の5人に2人が亡くなったのだと思えば、とても悲しくなります。お話を聞かされた痛みを苦しめたから

それでも、お話を聞かされたこと、水がある場所や川へ行ったこと、本当に哀れに思いました。最後に、原爆先生のお父様の「天才や手紙では思わぬ、長い線がゆるんでしまっている。お話を聞いていたけれど、怖い、かわいそうと思ってしまうのに、お父様は実際にその地で光景をまの当たりにしたのだ」ともつらいお話を聞かされたのかと思います。

「きれいな言葉...」私の心に残った言葉の一つです。原爆の資料館で再現された被爆者の女子。お父様が当時見たの、と、うてい違ったのだでしょう。お父様は、この言葉は出ていないと思います。今の世界の核兵器などは当時の何十倍、何百倍もの力があります。同じことをくり返してしまえば、お父様の命が失われます。今日の原爆



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

原爆のことについて、話していただきありがとうございました。戦争の悲惨さを改めて知ることが出来ました。私の祖母は戦争経験者です。戦争のことについて、祖母に聞いても、「忘れちゃった」といつもごまかされます。思い出したくないほど辛い経験をしたんだなと思っていました。でも、私の祖母は原爆を経験していません。私の祖母より辛い経験をした人がいると今回の授業で初めて知りました。私は、原爆は一瞬にして大勢の人の命をうばってしまっただけの物というほど然としてイメージも持っていなかった。なので、原爆による被害がどれほどひどいものか想像したことがなかったからです。最後に見たビデオで池田義三さんが原爆のことについて泣きながら話しているのを見て、思い出するのは本当に辛かったです。被爆したということだけでなく辛いはずなのに、助けを求めた被爆者を助けられなかったということも辛かったです。と思います。

原爆による被害の悲惨さを今回改めて知ることが出来て、戦争は二度としてはいけないということを強く思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私も平和記念資料館へ行ったことがあります。最初の方は原爆投下までの道程。後の方は実際の被害についてでした。もちろんこの資料館で多くのことを学べ、おどろきと悲しさを知ることか出来たのですが、現実はこの資料館で表せないものだと感じました。私はこの「現実」を体験していません。だからいくら原爆について知ったと言っても100%は理解できないでしょう。しかしそれを承知した上で未来の人々に核、戦争の悲しさも伝えることか出来ます。この原爆投下で学べたことかほとんどあるはずですが、今、複数の国が核を持ち核兵器で世界をおさそうとする状態になっています。ウクライナとロシアはまた「戦争」をしています。何ら国が平和をくり返し、世界に広げているという問題もありません。人間とはおろかな動物だと思いました。同じ過ちを今、くり返そうとしているからです。そして最後には人間の手で自ら地球をはかいほうとしているからです。それを止めなければなりません。今のところは核戦争が起きているかもしれませんが、未来は分かりません。今、私たちがしなければならぬことはそのような核戦争を止め、悲しさも次の世代の人に伝えていくことです。過去の過ちをくり返さぬよう、心掛けて地球で生活しなければなりません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/25

二月二十五日は、私たあの矢張りなかつた話や、知って  
いたけれど深く知らなかつたことをたくさん教えて  
くださって、ありがとうございました。

私の祖父母と母のお母さんが広島に住んでいたため、  
私も何度か、平和記念公園に行つたことがあります  
平和記念公園の被爆した人を再現した、人形でも  
私は、こわいと思つたのに、原爆先生のお父さんは、  
「きれいすぎる」ということをおっしゃっていたというお話を  
聞いて、当時は、相当こわい思いをしたんたつと  
思いました。

また、今日の話を聞いて、戦争は良くないかと  
改めて感じました。

今日のお話で一番印象に残っていることは、原爆を  
落とす候補のお話です。広島・小倉・長崎が候補  
でしたが、もし、この三つの場所の天候が悪いと、  
原爆を落とすことを中止するということだったそう  
です。私は、どんな強い風や、激しい雨でも、降つたり  
吹いたりしてほしかつたです。世界の中で一つの国だけ、  
それも、今私たちが住んでいる日本だけからこそ、絶対的に戦争は





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

7000℃の少年、というタイトルが私にまず強れっな印象を与えました。今まで広島に原子爆弾が投下されたことはもちろん知っていましたが、思い返してみると、あまり深く考えたことはありませんでした。こういう歴史があっただけで、たまたまそれだけだったので、今日初めて詳しいことを知るとかなりショックでした。前半の1時間は、こう生々しい感じで、お話を聞いているだけで、胸がぎゅーとしめつけられる感じがしました。今、原爆ドームを見てもひどい状態だと私には思えるのですが、他の建物はがれきと化してしまっ、て建物と言える状態ではなく、辺り一面灰色だったことなど現在の広島からは想像もできません。一瞬間にして人が消えて地面に黒いシミだけが残った写真を見た時、これは本当に人だったのだろうかと思定いたくなりました。色々な国が、この時よりももっとすごい原子爆弾を作り、持っていることを知り私は恐ふ、と怒りを覚えました。なぜ作るのか？なぜ人を人々にたくさん殺さなくてはいけないのか？すでに日



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受講して、改めて原爆、戦争の怖さも知りました。私は以前から広島、原爆のことに興味がありました。どんな怖さで、どんな状態だったのか... そんな事も考えたから授業を受けました。戦争の時代徴兵されて、生きて帰って来ても生きていない人はいっぱいいます。そんな貴重なお話が聞けて本当に良かったです。

死体の捜索、収容、焼却... 今考えると本当に恐ろしいですが、それを成し遂げた兵隊さんは素晴らしいと思います。

原爆、どうして落とされたか、どんな熱か、人間が消えてしまう程の熱、突然の出来事だったと思います。でもこれを乗り越えて今、生きていられる人、そして、被爆してしまっても頑張ってきた人の姿は、自分の目に焼きつきました。

米(アメリカ)から「原爆」、日本の「広島、長崎」という都市に原爆を落とされたのは、非常に気の付きます。

戦争という時代... とても厳しい生活だったと思います。「比」助け合っていた、という事は、この時代で生まれたのだと思います。これからは、二度とこの様なことが無い様に、世界平和を祈ります。被爆してしまったり、高熱に付き火傷で息絶えてしまったり、人のためにも、今の時代で元氣よく生きていけたらいいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/25

今年に戦後70年の節目になります。特に最近では「よくテレビ」のニュース「戦争など」の事が、いや、いい、そのニュースを見るたびに「人間はどろし、これを得をしないような事をするのにどうか」と思っています。しかし70年前この日本でも同じ事が起きていたと思っても怖くなります。もしあの時代に生まれていたら、もし広島や長崎に住んでいたなら、もし爆弾の近づくにいたら、もし近くに隠れたりするところがなかったら、自分は家を失、死にかかればいい、家族を失、死にかかればいい、それは「ありがた、自分の命さえも失ってしまったらいいかもしねない、その思うと、余言に怖くなります。今回のお話を聞き、自分の知らない戦争の様な事実を知ることができて、どかに落とすのがまじくわしく考えられていたことにもおどろきました。スカイツリーの第二展望台、私はそこに登ったことがありますが、とても高く人もとても小さかったことが、あの高さから落ちるもの原爆が投下されたと思うと、きっと私も今まで体験したことか、よい位、熱かったと思います。もう暑目より、ずっずと、それと「ころか、熱い」と感じられる事も無かったかもしねません。1つの原爆によって失われた、たくさん命、私には何十年後何百年後もそれを忘れないで改め「痛感」しました。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

貴重なお話、本当にありがたうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

12月25日はとてもわかりやすい授業をしてくださり、ありがたうございました。私は、今まで原子爆弾について、あまり知りませんでした。知っているものと言えば、日本だけが落とされたこと、広島と長崎にそれぞれ8月6日と9月に落とされたものであること、すぐに焼け野原になってしまうほど、おそろしいものであることなどです。しかし授業を受けたことにより、ヒロシマの原子爆弾についての知識がたまったと思います。「ヒロシマの九日間」の遺体処理についての内容に聞いているときにゾクッとしました。私は怖いものか入好きです。しかし、自分の目の前で全身大火傷をおっている人がいて、その人の皮がはがれ、うめいている様子を見てもはいられません。それが何れも死んでしまっている人でも、おぼったその人から異様な臭いが出たら、私は義三さんの何倍も吐いてしまうと思います。

この特別授業を受けて、改めて、感じたことがあります。戦争はとてもつらいものです。もう二度と戦争をしてはなりません。また、原子爆弾を落とすのは、日本だけでいいと思います。このつらい経験を活かし、日本が平和で、また世界中が平和になるように祈りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

2月25日は、貴重なお話ありがとうございました。私が先生のお話をうかがって一番印象に残ったことは、広島原爆がどれだけ大変だったかということです。その中でも一番おどろいたことは、原爆が7000℃の熱さだということです。太陽が6000℃なのに、7000℃の原爆が上空から落ちてくるなんて、私には全く想像が付きませんでした。また、先生のお話をうかがって、絶対にもうこのようなことが起こってはいけないということを、改めて感じる事ができました。なぜなら、原爆というのは、たくさんの方が亡くなってしまったり、たれもが起こってほしくないと思われていることだと思ったり、何もいいことはない、悪いことしかおこらないと思ったりからです。これからも平和な日本であり続け、また、今、戦争が起きている国も平和な国になるといいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

この前は、広島 の原爆についてお話してくださって  
ありがとうございます。広島 の原爆 について  
は、調べたり、原爆ドームや平和記念公園 など に行、た  
ことがあ、たので、知、っているつもりで、し、たが、  
お話を聴いて、原爆投下後の軍隊の様子を  
くわしく知ることになりました。

川に山積みになっている死体を上に引き上げ  
るお話を聴いて、想像するだけで怖くなり、  
背中がゾッとしました。人間とは思えない人間  
が近くに来て助けを求められただけで私はどう  
していいか分からなくな、てしまうのに、助けようとして、  
そうしたら無残にも皮膚がはがれ落ちてしまう。そん  
なところを見たら、すぐに逃げ出しまいそうです。  
一般市民の被害者だけでなく、助けに行、た軍隊の  
方々も心に深い傷を負、ているのだ、と思いました。

こんなにもひどい事が世界で起きていたなんて  
信じたくありませんでした。原子爆弾という物が  
どのくらいのかがあるのか分、か、た、よ、で投下したのなら、  
なぜそんなに大きな力を持った爆弾を落と、したのか、が知りた、い、です。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生のお話を聞いて、とても胸が痛みました。

実際に先生のお父さんの経験談を聞かせて頂きました。

私は原爆ドームに行、たことがあり、その時に見たしょうけき  
的な様子が頭に映し出されました。

でも本当は、そこにあつたもの以上たつたことが伝わ、  
きました。

「皮ふが垂れ落ちていた」という言葉が頭に残ります。

河がふ、とうして、「人間がゆでられる」とはどういう  
状態なのでしょう。

やけど、という言葉では伝わらない、相当ヒドイ  
ものたつたことが分かります。

なんの関係もない人たちが多くの命を失、たこと  
は本当に残念です。

「皮ふがすべり落ちる」、もう想像ができません。

胸が熱く、痛くなりました。「命」というすばらしいものに  
感激し、すばらしさを実感しました。

これからは、こんなおそろしさを私たちが伝えていかなく  
てはいけないことだと思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 25

2月25日は、特別授業をしていただきありがとうございました。戦争という物はどういう物か、原爆とはどういう物か知ることができました。

先生のお父様の体験談を聞いて、戦争のどれだけ卑劣なものかという事を改めて実感しました。何の罪も無い14万人という方がたった一つの爆弾でなくなりました。今年で終戦70年です。戦争を体験した方がどんどん少なくなるなかで、私たちはこれからどうするべきか考えさせられました。戦争で多くの被害を受けた国だからこそ、戦争で負けた国だからこそ、世界で唯一原爆の被害を受けた国だからこそできる事をするべきだと思います。私は大きな事はできないけれど語りついていきたいです。

もう二度とこんな事はおこってはいけなと思います。

戦争は何を教えてくれたのか考えるきっかけ





名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/20

池田貞徳さんへ、原爆先生の出張授業に来てくださって  
ありがとうございます。私の親せきに戦争を経験している人が少な  
い上に、その少ない人たちは対人なボケてしまっている。これが  
戦争の実体験を聞く初めてのことでとても楽しみにしていました。

日記を言売人いただいた時は、表現の生々しさに体がふる  
えていました。社会の歴史の授業の時は、「アメリカも日本を  
実験台に転んでいじいな」ということくらいしか思わなかったし、  
なぜ広島や長崎が選ばれたか、というので、きまじれたたのかな  
と思いましたが、アメリカも条件をつけて探していてその中に京都も  
ふくまれていたのには、本当におどろきました。

60年前の技術で、一つの都市がはいめつ状態になるまで  
の兵器をつくらせて、今の技術ではいかに何倍にも上がら  
ているということは、教科書に書いてある通り「世界がほろぶかもしれ  
ない」というのも本当の話のような気がします。

冷戦がおこっていたというのも私は全く経験していないので  
「ふーん」としか思い主人でしたかもしソ連とアメリカのどちらかか  
原子爆弾がおとされていたら私が生まれていなかったと思うと  
本当に恐いと思います。二度と戦争が起きてほしくありません。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は、私たちのために授業をして下さり、ありがとうございました。  
90分間の授業は、少し長めなのかなと思いましたが、  
授業が始まると、すぐに先生の話しに引き込まれ、時間が経つ  
のを忘れてしまうくらいでした。

今まで私は戦争の話や原爆の話聞く事があまり無く、  
テレビなどで放送をしていても、つい目や耳をそむけてしま  
う事が多々ありました。しかし、先生の話を聞いて、戦争から  
逃げることではなく、戦争を知る事で、この先の世界で  
戦争がなくなるのではないかと、戦争について、も  
っといろいろな事を学びたいと考えることが出来るようになり  
ました。

先生のお話では目をそむけてくような映像・画像が  
出てきましたが、その映像・画像を見たことで、私は平和  
な世界へ一歩前進したと思います。お父様が実際に体験  
された原爆の力は想像もできないくらい大きく強いもの  
だ、と思います。でも、二度とあの悲しい事が起こらな  
いように世界を変えていける。素敵なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は、お話し ありがとうございます。

今年は戦後70年というにもあり戦争の特集テレビや新聞などでとり上げられて、私も実際に戦争の本を読んだりしました。本を読んだだけでは原爆の被害を受けた方々のひきさかひが分かりません。しかし、お話を聞いて分かったように、志島 長崎でのひきさかひは本などでは決してあらわせないのだけだと思います。先生のお話で手をさし出したら戻り、かたはかたおちたところがありました。私は「え。」と思いました。今を生きると私には想像できません。もちろん70年前の人たちにも想像できなかったと思います。私は以前アインシュタインの伝記を読んで、小さい原爆が原子爆弾で勢いははかたいたがこれには驚き、書いてあり、たいていkgも小さいものが何十kgの命をうばったとき悲しくなりました。

戦争が終わってから年数がたつうちにどんどん戦争を経験した方がなくなると、戦争のおそろしさを知らない若者がどんどん増えてきています。次核戦争がおきれば地球は終わると言われていますし、現在の技術で核兵器は100人中12何百人も命をうばうと表されています。中々いつの禍いおこる国として私たちにできることは何かと考え、そして実行は早くすることが、私たちが若者に与えられた使命ではないのかとあらためて実感しました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私が一番印象に残っている事は、火傷をおおった人々が、トラックに乗ろうと手をさしのはすけれど、皮膚がはがれ落ちてしまうという所と手をななめ前に出して歩いているという所です。そんな所を想像しただけで寒けがしてきました。戦争や原爆は人々の平和な暮らしなどを一しゅんにして消さってしまうものなんだなと思いました。また、池田さんの「きれいすぎる」という言葉には、実際はもっとひどいものだったんだなとも思い、私か、思った以外にも、たくさんの意味がこめられているのかもしれないなと感じました。そしてもう一つ印象に残ったことがあります。それは広島に落とされた原爆の原料であるウランをあの時は1kgしか落とさなかったけど、60kg落としたりどうなっていたかという問いに少し考えてみると、広島は全てがいめつして、瀬戸内海の水も蒸発していてもおそろしい悲さんな事になっていたと思いました。長崎に落とされたのはプルトニウムが原料なので、どう違うのかなと考えました。あの原爆で5人に2人が亡くなってしまうと聞いて、とても悲しかったです。世界で一つの被爆国として、もうこういった戦争が起きないでほしいです。日本が世界で最初で最後の被爆国であり、世界が平和になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までは「原爆」と言っても、「広島と長崎に落とされて、一瞬で何万人の命を奪った」とても危険な兵器というくらいにしか考えていませんでした。しかし、原爆先生の授業を受講して、私の考えとても甘いことを思い知らされました。一つ目は、太陽の表面温度、6000度よりも高い、7000度が地上600メートルにあたということです。太陽がこれ以上近づいたら危ないのに、急に7000度が近づいてきたということは、広島町は土也ごとく同じようなものであり、とても怖いと思います。二つ目は、リトルボーイには60kgウランを積んでいたということです。技術者が進歩していなかったから1kgの火暴発ですんだけれど、もし全部のウランが火暴発したら、日本がなくなってしまうかもしれないと思います。三つ目は、被害を受けた人たちの生々しさです。ビデオに、一瞬で消えた人を見て、とてもおそろしくなりました。ですが、これは辛くても見なければならぬ現実だと思い、しっかりと見つめました。また、展示されていた女小学生で、「まだきれいだ」と言うなら、本当は...と思うと切なくなりました。二度としないよう努力していきます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

先日は、光塩女子学院までお越しくださり、ありがとうございました。  
私たちも、また話してください、先生も戦争を体験  
してないので、細かいことは分かりませんが、それで「すましてしま  
う」というのはいけないことです。戦争を体験した方、あるいは  
知っている方から次の世代である私たちへと受けつぐ、ということ  
をしてくださいました。

先生のお父さまが戦争を体験されたようで、それも兵士として戦争  
を迎えた、ということにおどろきました。お父さまが広島に  
いたのに助かった、というのは、ほっとした気持ちも、おどろくような  
気持ちもわいてきました。今思うと、本当によかった、と思いま  
す。原爆投下の候補に「小倉」や「横浜」、「京都」、「新潟」が挙が  
っていたのは、初めて聞きました。それに、小倉は私の祖父母が  
住んでいる地域の近くなのでおどろきました。横浜だったら東京  
も大きな被害があったらろうななどと考え、新潟はなぜそんなところを  
選んだのだろうか、と疑問に思いました。そして、おどろきだったのが、  
京都が1番押されていたのに、重要な文化財があったために、除  
外された、ということなのです。京都だったら、大阪などにも大きな  
被害があったらろうなと思いました。いろいろ細かいところま  
で教えてください、本当にありがとうございました。将来私



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

私はこの前の言告を聞いて、まず一番初めに思った事はもう二度と戦争という行動を人類はしてはならない、という事です。今の日本の憲法第9条にもほぼ同じ事が書いてあると思います。

戦争のいたいたしさや生々しさは、いくら日本の技術が上でも、それは経験した人しかわからない、という事が今回の話やビデオを見て、とてもわかりました。おじい様が「きれいすぎる」と言ったと言っていました。その言葉にはたぐいの意味がこめられていると思います。たとえば、こんなのを見たんじゃない、という怒りの感情や、今の人に、これでは伝わらない、という悲しみの感情なのか、しかし、本当の事は私にはよくわかりません。多分わかるのは、言った本人ぐらいでしょう。

「リトルボイ」という名の原子爆弾を落とされ、手にとてもいやな感覚は、私にはわかりませんがイメージはできます。それが合っているかすら、

わかりませんが、

7000°もの熱で、全体が大やけどした人、粉々にされ、ふっとばされ、きのこ雲になるほどまでうち上げられた人、放射能をあび、今も苦しむ人々がいるこの世の中、私はそのような人を、失くしたいと思いました。







名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は貴重なお話を下さり、ありがとうございます。  
います。原子爆弾は一瞬にして大勢の人の命を  
うばってしまう怖いものだということを知って  
いましたが、今日のお話を聞いて想像を絶するほど  
原子爆弾がおそろしいものだとわかりました。  
無残すぎる原爆投下後の広島市の状態を聞き、  
胸がはりさけそうでした。被爆者はどれだけの  
苦しみを味わったのだろうか、池田義三さんたち兵隊  
さんはどれほどの恐ろ、感を体馬負したのだろうか  
そう考えるだけでう、るえてしまいそうでした。  
また、池田義三さんのビデオを見て戦後60年もち、  
ても決して忘れることができない悲しみと恐ろ、感を  
背負って人生を歩んできたのかと思うとかわいそうで  
たまりませんでした。多くの人の命をうばう戦争、  
体だけでなく心にも深く傷を負わせてしまう戦争、が  
世界中でなくなると良いです。人間はコミュニケーション  
をとることができるのだから武力を使わずに平和的  
解決をたれもができるようになったら良いです。戦争の  
ことを決して忘れずにいようと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

『広島・長崎への原子爆弾投下』という出来事はとても前から知っていたし、いおばあさんからも話を聞いて、下の①でわかっているつもりで、だが実際にはさらに悲惨だったということがとても伝わってきました。私は広島の実爆ドームを見たことがあるし、資料館にも行ったことがあります。口ウ人形を見た、いおばあさんが「こんなもんじゃなかった...」とつぶやいていた姿が頭をかすめました。先生が授業の中で被爆者の様子をお話している時、本当にこわいと思いました。でも、まんまその通りの姿だということを知っていました。資料館に写真で展示されていたからです。今を生きている私たちは過去のそういう出来事をよく知って理解し、考えていかねばならないのだと思います。そのように改めて考える機会をあたえてくださった先生に感謝したいです。私は戦争のことについて本でしか読んだことがないので、その事に関係が深い方々や経験者の方々のお話を聞く



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日はありがとうございました。

予想をはるかに超えるほどのすごいお話で、耳を防  
ぎ、目を覚ましてしまいたくなる場面もたくさんありま  
したが、これを生で見た人もいるのだと思い、二度と  
そのような悲劇をくり返さないよう、これからの時  
代を生きる私たちが気を付けていかねばなら  
ないと考えました。

またこの話を聞いたときは、今日の夜は絶対  
悪夢を見るだろうと思いましたが、これを書いている  
今、とても眠く、夢心地であることが変な気分です。  
これから、戦争のことを考えるたび、今回のお話  
のことを思い出すと思います。

お話を、よく考えて、戦争がこの後二度と  
起こることのないよう、世界唯一のひばく国  
である日本は世界に向けて発信していか  
なければならぬと思いました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

今日、実話、そして体験談と聞き、今まで知らなかった沢山の知識を得ることができました。本当にありがとうございました。また、本などで当時の様子は何となく知っていましたか、原爆があたえた被害は想像を絶するものだったんだとわかりました。もし、どこかで見つけたら、「ヒロシマの九日間」を読ませていただこうと思います。お父様の実話では、爆心地に近づくにつれて変わっていく人々の様子がとてもくわしくわかりました。もう人間の姿ではないものだったというのは本当に心がいたみます。その人々のつらさや苦しみを考えるとむねがしめつけられるような気がします。また途中で見た、約3分のビデオでは、幸せそうにくらす人々、そして落下していく原爆の様子がありました。先生のお話の中にもあった会社があくのを待って階段にすわっていた人が一瞬のうちに消え、またさきまでには笑っていた親子も消え……。本当にたく山の方がてくなられたんだということ、そして、これから沢山の技術が開発されると思いますがそれを悪い方向へもっていかないようにする事の大切さが改めてわかりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日はどんな方が来て下さるのかと楽しみにしていました。  
原爆先生の授業はとてもくわしく、今まで知らなかったことがたくさん  
ありました。

例えば、にけた飛行機にまでしょうけき波が伝わった という  
ことや、熱さからのかれようと川に入れば水がふっとうしていて大火傷  
を負った というお話です。原子爆弾のいかを改めて感じました。

また、ある本に半径2kmはかいめつ状態と書いてありまし  
たが、本当にその通りで、池田義三さん トラックの運転手、電話  
局の地下のトイレにかくれていた人が助かったのはきせきだったと思  
いました。

60年前の技術で都市がかいめつするほどのいかならば  
今の核原発はどうなってしまうのでしょうか。そう思ったらとても怖く  
なりました。

死亡率は40%ということでしたが、そもそも広島・長崎県の人  
々が死ぬ必要はあったのか、と強く思いました。もう2度と、こん  
なことがないように願っています。

色々お話しして下さい、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

単戈争のことは祖父の家に単戈友のふつたんが  
あるのて、ところどころ聞いていましたか。祖父が  
死んだ時、九十八才だったのて、あまり覚えていなくて、  
くわしいことまでは聞けませんでした。  
今日の原爆のことを聞いて、より深く知ることができ  
よかったです。

想像するだけアソ、とするような部分もあり、「これは  
本当に夢とかでござまかしてはいけないものだ」と  
本能的に感じられるほどのものでした。

とにかく後味がき、うれつて、目をつぶって耳を  
ふさいでほしいなくなるほどわたしにとていやな  
ものでした。それと同時に、二度と同じことを  
くり返さないためにも、これから未来をつくっていく  
わたしたちは真、けんに向き合わなければ、とも  
思いました。話の途中やビデオで目をそむけるのを  
かまんして、眉間にしわをよせるほど、つらく、こわかったです。

話を聞いているだけで、つらく、こわいのて、当時の人は何倍  
も何十倍もつらい思いをしていることを、実際に戦争を体  
験した人が少なくなっている今、きちんと後世に伝えていか



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今回は、私たちに特別授業をしてくださりありがとうございます

原爆とは一度で人の命を次山うばう物、ということを知っていましたか。あまりくわしいことは知りませんでした。

一番驚いたことは原爆が落とされる候補に「京都」だ、ということでした。もし京都に落とされていたら、歴史は変わるでしょうし、もっと大変なことになる、と思います。被爆した人が広島で70%もいると知りこれも驚きました。私ももし陸軍に入ったら「逃げた」と思います。しかし、陸軍を続けた人の方がいるのではないかと思います。

原爆についても、次山知って、後の世代の人たちに原爆の悲しさや、陸軍の大変さなどを伝えていってほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の授業を受けてまず感じたのは  
こわいということです。今までにはそこまでこわい  
と感じたことはありませんでしたが、今回、原子  
爆弾の、いかや被爆者の話を聞いてそんなに  
大きな出来事だったんだと改めて感じました。

その中でも一番ドキッとしたのは被爆者  
のお話です。皮がただれてしまうというのは  
聞いたことがありましたが、手をにきいた  
だけでズルッとむけてしまうなんてとても  
おどろきました。また、川の水がほとんど  
なくなってしまうほどの高温に体がつつ  
まれてしまうということにもおどろきまし  
た。もし、これが自分の身におこっていたら  
と思うととてもこわいし、悲しいことな  
んだということを実感しました。

この原子爆弾投下という出来事はこれか  
らもずっと伝えていくべきものだと思います。

そして私たちは、もうこんなことがあらない  
ように平和な世界を創っていかねければいけないと





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が一番印象に残っている事は、火傷をおおった人々がトラックに乗ろうとするけれど皮ふがはがれ落ちてしまう所と、会社が始まるのを階段でまっていたところを原爆がおそい階段には座っていた跡だけが残っていたという所です。原爆は想像を絶するもので人々の幸せ、平和を一瞬でうばってしまうものであることを改めて感じました。

池田さんの博物館見学するときの女の人の像を見て、「きれいすぎる」と言ったのはもともと皮ふがはがれていたからだと思います。女の人の像は私が見ると十分リアルでしたが「きれいすぎる」という発言は被爆者だから言える発言だったのだと思います。

私の親せきに被爆者はいないので原爆について聴く機会が少ないので、たくさんの人に聴いたり、調べたりして、後世に伝えていきたいです。そして、世界から戦争がなくなり、平和になりたいです。また、日本が世界で最初で最後の「被爆国」であってほしいです。今回は原爆について貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今日は 私たちのために授業をしてくださりありがとうございました。

原爆はたくさんの人の命をうばい、体中にやけどをおた  
という事は知っていましたが、先生の細かい説明に  
ゾッとしました。

原爆を落としたアメリカはとてもいじわるだなと思いました。  
でも、日本も それまでたくさんのひどい事をしてきました。

そのため、原爆を落とされたのもしょうがないとも思えました。

なぜ、こんな事が起きましたのでしょうか？ それは 天皇(主権者)  
のせいだと思います。主権者が戦争はいけないと分かっていたら  
こんな事は起こりませんでした。でも人は失敗する動物です。

一回戦争をしてたくさんの国民を失い、戦争は何も生まないと  
分かったはずですが、でも、失敗を受け入れないから こんな  
悲惨な事が起きましたのです。

やはり、どんな事に対しても、失敗を受け入れ次に成功する  
ために どうすればいいのか きちんと考えるべきです。

一番思った事は、罪のない人がなぜころされなければいけ  
ないのかという事です。主権者は自分のことばかりでは  
だめです。周りの人々のことを考えて、未来を見きわめる事も大切



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

池田先生、戦争の話をしてくださり、ありがとうございました  
いました。広島で起きた原爆の話は聞いている  
だけで少し情景がうかぶほどくわしくて、つらいお  
話でした。原爆で生き残った人は「運」が良いの  
だと思います。今回のお話ではたまたまドラムかんの  
後ろにいたり、たまたまドアが影になった、など  
少しでも自分のいる場所がちがっていたら命を落とし  
ていた可能性があります。ひばく者の様子は  
爆心地に近づくにつれどんどんひどくなっています、  
こわかったです。ひびがはがれてしまうほどの原爆の  
おそろしさがよくわかりました。ついに「人がーしんで  
消えた」というふだんの生活では考えられないことが  
起こったということを知り、せすじがゾッとしました。  
このお話を聞いて改めて戦争は絶対にしてはい  
けないなと思いました。何の罪もない広島の人々  
がたくさん命を落とし、おそろしいです。これからも  
戦争はしないことはとても大切なことです。

池田先生、お話をしてくださり、本当にありがとう  
ございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は戦争を体験したことがないし、見たことがありません。そんな私にも充分戦争のおそろじさが理解できるお話でした。聞いてゐるだけで目をそむけなくなるような場面もありましたか。もしも自分か、お父様の立場であつたら、大やけどをしてみましたのであつたら...と思うととてもこわくなってしまいます。

たった一つの爆たんによって、14万人もの方々がお亡くなりになられた。ということに本当におおろけてしまいました。どんなにあつたただらうか。どんなにこわくて苦しただらうか。そう考えると心がいたくなります。

今の日本がこうして平和になつて本当に良かったです。このような誤ちをもう二度とおかしてほしくないといひから願つています。

私は戦争をよく知りません。たくさんの話を聞いたことがあつたけれど、実際に見たことがないからです。

けれど、世界の平和をいのり

「日本は戦争で...」

と次世代にも伝えていけるようにしたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

2/25

まず、最初に思ったことは、「悲、惨だな」ということです。次に、「最初に仕掛けたのは、日本とはいえ、これはやりすぎだ」と思いました。義三さんは、たまたまにたまたまが重なって、助けられました。しかし、広島市内にいた人は、ほとんど、亡くなっています。逃げることもできません。

表面温度が太陽よりも高い原子爆弾。アメリカとしては「伝統を守りたかった」とか、「実験用だった」で済むかもしれませんが、でも、日本人として、私は、当時のアメリカ人に、「ふざけないで!!!」と言いたいです。

「伝統とか、実験なんて関係ない。人間という、いえ、命という宝をそんな粗末に扱わないで!!!」この特別授業を受けて、思い直したことは、「命の大切さ」と、「戦争のこわさ」でした。将来、自分の子孫に、今日、聞いたお話をしてあげたいです。亡き、そう祖父母も同じような体験をしていると思うと、

心が痛くなりました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今日は、貴重なお話をどうもありがとうございました。  
私が今日のお話で改めて感じたことは、原子爆弾を落としたアメリカ側もその内に恐ろしくなってしまうということ。・そのすぎまじい  
いかで何+万人もの命がなくなってしまうということです。私が今日の授業で一番驚いたことは、あまりの熱さに人が一瞬にして消えてしまうということです。その話を聞いた後、階段にただ黒い影が残っている写真を見た時、思わず息を飲んでしまいました。同時に背すじが凍るような感覚を覚えました。

私は、先生のお父様のビデオを見た時、涙ながらに話している先生のお父様を見て、私を泣きそうになってしまいました。お父様が資料館の人形がきれいすぎるとおっしゃっていたのを思い出して調べてしまいました。顔を背むけてしまいたくなるほど恐ろしい写真でした。これでもきれいな方だなんて、とても恐ろしくなりました。戦争は二度してはいけないことであるということを感じ、改めて今の時代に生まれてきた自分たちがどれだけ幸せを感じられたか十分聞きた



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

先日は、私たちのために授業をして下さってありがとうございました。原爆を本当に体験した方のお話は、これまでに私が聞いたどんな戦争の話よりも深く心が痛みました。私も、ついふんと前にはりますが、広島市の平和記念公園に父と二人で行きました。原爆ドームのまわりはどうしても静かで、小学校の低学年だった私には不気味にも感じられるほどです。資料館では、皮膚がたたれて落ちた人形をみて、正直うっとなつたし、恐くて目をそむけたくなりました。でも、先生のお父様はその人形をみて、「きれいすぎる」とおっしゃったそうですね。あんな姿の人間が自分に助けをもとめて近ずいてきたとしても、私にはその人に手をかすことができる自信がありません。

今回の先生のお話して、原子爆弾がもたらした悲劇、一瞬で消えさつたたくさんの命と人類がきずきあげてきた文化を知り、想い、考えさせられました。こんな出来事を二度とくり返さないようにするのが私たちの使命なのでは



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

改めて戦争は、いけないと思いました。  
国は国民を戦かっ<sup>て</sup>て勝つための道具として  
使っていたように思います。国民は死と  
なりあわせだ<sup>と</sup>いうのに「お国のため」  
と戦争という名の殺し合いをしていました。  
そのころの日本はいじょうでした。原爆の  
はなしをきいて、それから少しの間、そのことか  
のうりに焼きついて忘<sup>れ</sup>ないようにも忘れられせん  
でした。日本もいけないし、その日本に対し  
原爆を落としたアメリカに対してもはらがたち  
ました。たった数秒で何十万人もの人が  
命を失いました。まだ原爆に苦しんで  
いる人もいます。人の命はた<sup>い</sup>によりも  
大切なのです。自分の家族や身内が  
こんな目にあたら<sup>ば</sup>どんな気持ちに  
なるか自分の身におかえたら戦争は  
いけないのではないのでしょうか。





名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2 / 25

今日は、90分間もお話ししてくださってありがとうございました。  
また、原爆のことはなんとなくは知っているつもり  
でしたが、実際には体験した方やそのご家族の方のお話を  
真面目に聞いたのは初めてで、今まで想像してきたような  
生易いものではないと思いました。例えば、私は  
原爆資料館へ行った時、皮ふが剥がれてしまった人形  
を見たあとは夜になっても眠れなかったのに、義三さんは  
「きれいすぎる」とおっしゃったことです。お話は数値を交え  
たり、義三さんのお話を聞いたりしてとても分かりやすかった  
です。お話は耳をふさぎにくくなるような内容もあって、でも  
実際に人が起こした惨事なのだからと思うと、いろいろな思いで  
胸がいっぱいになりました。そして、日本が真珠湾を攻撃したから  
悪いとか、原爆はするとか一般人を巻き込むなどいろいろな  
考え方をしました。でもどちらにしても戦争はあってはいいこと  
だし、起ったのも事実です。過去は変えられないけれども  
これから、もう二度とこんなことが起らないように、目を覚め  
ずにきちんと学んでいきたいです。貴重なお話をしてくだ  
さって本当にありがとうございました。季節は春に向かっていますが、  
寒い日もあります。どうぞご自愛ください。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今日、原爆先生の特別授業を受講して、改めて戦争が幸せになるためのものではなく人を苦しめ、自分までも苦めるようなものだと感じました。特に原子爆弾が落とされた広島や長崎にいて亡くなった人も奇跡的に生き残った人も私が理解できないほどの苦しみや悲しみを体験し、戦争に対する思いが一人一人あるのだらうと思いました。原子爆弾が落とされたゆえにいつの国にからこそ他国との戦争を絶対にせず平和であることが戦争で亡くなった方々や体験した方々が望む事だと思いました。平和であるためにも今回のように子供のうちに戦争について学び次々次々とならないでいき二度戦争が起る事が絶対にならないようにしなければならぬのだと思いました。今回は戦争を体験した方の貴重なお話を聞いて見て学べて良かったと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 25

今日は私たちのために貴重なお話をしてくださり、  
ありがとうございます。

私は広島の実験ドームと原爆資料館に行た  
ことがありますが、今日のお話はその時よりほう  
けき的でした。特に一番おどろいたことは会社  
の前に座り、会社が開くのを待っていた男性が、  
まるで消え去ったかのようにバラバラになったこと  
です。実際には熱で溶け、衝撃波でバラバラになっ  
たらしいですが、燃えかすもなくなるほどのものなんだ  
と本当にショックでした。

私たちは、今日聞いた内容を心に刻み、  
「平和」という意味を常に考え続けなくては  
なりません。というよりも、なるべきです。いずれ私た  
ちが年を取り、老人となった後にも、後世まで  
この戦争、原爆のことを伝え続けなくてはなら  
ない使命が、この世代にはあります。どうか正確に  
くわく、かつその悲惨さを共有させ、多くの人たちが  
犠牲となったこの出来事を伝えるため、私たちも最大  
限努力します。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆についてのお話をくわしく聞いたことが無かったので、とてもためになりました。

印象に残ったことは、人がーしゃんで「焼け死んでしまう」ということです。人がすわっていた影だけが残っている写真を見て、昔はこんなひどいことがあったんだ、と改めて感じることができました。先生のお父さまのようにドラムかんがあったから守られたなど、何かの影にいて助かった人は本当に幸運だったのだなと思いました。原爆が落ちた仲間にとって自分の行動で「生きる」か「死ぬ」かが決まってしまうのはとてもこわいです。ビデオで炎がものすごい勢いで広がっていくのを見て、なぜ日本はもっと早く戦争を終わらせなかったのだらうと思いました。広島の人々、14万人もの命をうばったからです。

戦争が終わって日本は今豊かで平和な国へと成長しました。昔、戦争で原爆が落とされたなんてまるでうそのようです。再び戦争が起こらないように私たちが伝えていかなければ"と思いました。今日



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

先日(2月25日・水曜日)は、原子爆弾についてくわしいお話をしてくださり、ありがとうございました。

私が今回のお話を聞いて印象に残っていることは「原子爆弾の温度の話」と「1kgの話」です。球体の外側が7000℃で中心が100万℃の球体が上空600mにあつたという話を聞いたときには、とてもおどろきました。

もし上空600mにこのような球体があつたらと考えるだけでおそろしくなり、こわくなります。「1kgの話」では、ゴルフボール1個くらいがウラン1kgの量だという話を聞いたときにはとてもおどろきました。もっと大きいものだと思っていたからです。リトルボーイの原料であるウランを60kgも積んだいたと思うとこわくてなりません。60kgのうち1kgしか投下していないのに、一人で広島を焼いてしまったからです。もし60kg全て投下されていたらと考えるだけでおそろしくなり、ふるえてきます。

今回のお話を聞いて、戦争は二度としてはいけないものだと改めて強く感じました。これからも戦争の悲しみを忘れずに生きていきたいです。

心に残るお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

/

私は広島のとりの山で生まれ祖父母の家も山口にあります。  
二年生の夏、祖母、母と親族、私で広島、宮島をまわりました。  
一番最初に訪れたのが、原爆ドームでした。資料館では、いろいろ  
な展示物を見ていたから、あの人形だけは、少し目を背向けていました。  
小さかったとはいえ、まともに見れていなかった人形をもう一度見たいと  
思っていました。皮ふがたれてしまっている人形が、怖く、悲しく感じられ  
ていました。でも、それ以上にひどいものだったとは、思いませんで  
した。どうして戦争なしかしてしま、たの？原爆を落とす時、どんな気持ち  
だったの？言葉で説明されても、いくら理由があっても、私にはわからない  
かもしれません。私にだってわからない、頭上から光る物が来たと思えば、  
もういなくなってしまう人、体がじんじんただれていく人の気持ちは、  
でも考えることはできる。私が考えた、意味ないと思ったりしますが、で  
も次の世代の私たちが考えることにより、少しは意味があるんだと、  
この授業を受けて感じました。

今の広島を見てもわからなかった原爆の姿が、わかりました。

今回は授業してくださり、ありがとうございました。

この授業が受けられてよかったです。

これから、原爆で被爆された方々のことを考えていたと思います。

そして、世界中で、核を持たなくなってくれたらいいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/25

今回は、私たちの知らない原爆のことをくわしく教えていただき、ありがとうございました。

私は、今まで、原爆がどんな力かはわからな  
いけれど、きっととてもすごいんだらうなと思っ  
ていました。けれど、実際は、もっと悲惨で、ビ  
デオで人間が溶けて、その場所が黒く影にな  
ったものを見たときには、そんなことが起こる  
ことが信じられず、こわくなってしまいました。

アメリカからしてみれば、一種の核兵器を落  
としたにすぎないけれど、その時、それが落ちて  
くるのを見ていた広島の人々の気持ちを考え  
ると、なぜ原爆で全ての人を一瞬で殺してしま  
おうと考えたのか、なぜ、同じ人間の命を簡  
単に無くしてしまったのか、とても悲しくなりま  
した。

今回のお話を聞いて、この事実を、これから  
生まれる人たちにも、知ってもらわなければ  
いけないことだ”と思ったので、私たちも、  
いろいろな人に伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は私たち六年生に原爆について  
お話してくださり、ありがとうございました。  
最初は、「7000°の少年」が何のことか、  
わかりませんでした。お話を聞くにつれ、  
それが「リトルボーイ」のことだとわかり、  
おどろきました。たった三メートルのもので、  
何万人もの命が、人生が、夢がうばわれる。  
本当に悲しいことでした。しかも、広島、長崎の  
すべてをうばってしまったのは、私たちと同じ  
人間です。人が人をきずつける。  
「しかたがない」なんて、いえるものではあり  
ません。  
今の私たちにできること、それは、記憶する  
ことだと思います。忘れてはいけない、あの日の  
ことを、人々の思いを、私たちが次へつないで  
いかなくてははいけません。そして、二度と  
くり返さぬよう努めることが私たちの役目です。  
今回、私たちに考えるきっかけをあたえてくださり、  
本当にありがとうございました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

「7000℃の少年」という題をみて、最初は竟口未が全然  
おかりませんでした。原爆が7000℃だなと思、ただけ  
でした。でも、「7000℃」で、人がどうなってしまうか  
聞いたときはショックでした。歴史の授業で  
さら、とふれただけの時よりも、ずっと、心に  
残る話でした。現代では、多くの国が、世界  
の平和を目指して努力しています。  
でも、平和にするためには、平和でない状  
態、戦時中のことを知らなければなら  
ないと思います。今回の話は、正直に  
言っ、もう考えたくない、嫌な気持ち  
になる話でした。でも、実際に体験し  
た人はもっ、とっらいはずだし、そういう  
ことを体験した人がどんどん少なくな  
っているの、私たちが、そういった人たち  
のように、こ、うい、う話を伝えてい  
くのが大事だと思、っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2 / 25

今回は原爆げんばくについて話していただきありがとうございます  
이었습니다。

私が思っていた以上に、ひどく悲しいものでおどろきました。  
中でも戦友たちのすすここささにおどろきました。  
ふ、通は人間のはずなのに、人間じゃないみたい  
に、はたかたたただだれてしまい、変な臭いがある中、必至に  
たすけもかかいてる人たちを助けるすここささだと思います。  
私だったら、今にもたたよよげげたたしてしまおうと  
思います。しかし、戦友たちはたたよよげげたたしいときも  
あったけれど、かかんかんははううてて糸色ええてていいとと言いっっててい  
ました。これを知って、私もこの人たちのような強い  
人にならなりたいと思おいいました。

また、リトルボーイのおそろしさも学びました。  
太陽より熱いものたたよよと考考えられませんか。そんなもの  
が落おちてきたら、どどれれたたけ、ここわわいいか、それは  
体験した人でたたよよいいとわわかかららたたよよいいと思おいいます。

これからは、せせくくたたたた被爆者、戦友たちのことを胸むねにすすここささしたいと思おいいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は、広島原爆についてのお話を  
たくさんしていただきありがとうございました。  
先生のお父様の実体験のお話を  
聞いておどろきました。体験された  
ことを自分に置き換えて想像すると、  
怖くなったり、悲しくなったりしました。

原子爆弾が落ちた直後の広島の様子、  
死なされた人々、その人たちの生活について  
よりよく知ることができました。爆弾が  
落とされた直後の広島はたいへん  
殺風景になっていたと思います。死な  
された人々はどのような思いだったのか、これ  
からもより深く考えたいです。

日本はゆい一つの死爆国です。広島と長崎  
に落とされた爆弾が心のぐらゐすい  
ものだったのかをこれから資料などを  
読んで、知識を増やしたいです。

怖いという感情だけでなく、聞いたこと  
を心に留めて生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について、社会の授業で習ったことや、新聞にのっていたことしか知りませんでした。それでも、「恐ろしいものなんだ」という認識はありました。しかし、今日の授業を受講して、そんな自分がはずかしくなりました。「恐ろしい」という一言では済まされない事実であると思、たからです。先生の表現やビデオを見てみると、私には味わ、たことのない、想像を絶するようなこわさがあると感じました。少し前まで、「原爆投下は遠い昔のことだ」と思、ていました。しかし、遠くない過去で起、たということが分かりました。私は戦争を経験したことがないので、原爆投下を一つの歴史としてとらえていました。しかし、今は違います。私たちは戦争を経験した人から直接話を聞ける最後の世代と言われ、ています。だから、経験された方から話を聞き、自分たちなりに受け止めていきたいです。私はまだ小学校六年生です。できることはとても少なく小さなものだけれども、今日の授業をし、かりと受け止めて、これから生きていきたいと思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

前日は、特別授業で様々なことを教えてくださり、ありがたうございました。社会でも習いましたか、原爆が投下された、ということだけをやり細かい所まで知らなかったのが、今回のことを通し、戦争は絶対にやってはいけないということを改めて思いました。目をそむけなくなるような事実でしたが、そのようなことを伝えていく人がいるからそのことについて知れて二度とやってはいけないということを知れるのだと思います。生きのびた人も、なくなってしまった人もみんな苦しんでいるはずで、生きのびれても家族や友達を失ったり後遺症が残ってしまったり…。なくなっただけは熱い光に痛み、やけどを負ってとても苦しんだはずで、みんなが痛み、よろこぶ人なんて一人もいません。原爆先生のお父さんも周りのかげきだらけの光景に痛み、そのことは一生忘れられなかったと思います。その時そこにいなかった私でもとても苦しい気持ちになりました。伝えていく系が二度ととぎれず、このことを決しておこさないということが私たちの使命でありやるべきことだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今まで、戦争をくり返しては行かないと  
 いう事は知っていたが、自由がい戦争の  
 内容は知りませんでした。しかし、今回の  
 お話を聞いて、戦争の悲惨さを身にし  
 みた感じがします。びくつきが細かく、時に  
 息持たせなくなる時がありました。池田  
 義三さんが広島原爆（資料館の皮ふのたぐい）  
 にある様子を見て「きれいすぎる」と言った。という  
 話を聞き、心の底からおどろきました。  
 話よりもおどろしい出来事など、想像もできませんでした。  
 一番私に印象に残ったのは、人間が  
 炭化して、しょうげきでコナゴナになるとい  
 う事です。そんなことが実際にあるのかと思  
 いました。またそんなことがあったこと  
 もおどろきました。  
 今から70年前、70年ぶりの広島が復  
 たのはおどろきです。池田義三さんがな  
 された話を聞いて、私も泣きそうにな  
 りました。私は今の時代に生まれて幸  
 せです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は原爆のお話をしてくださりありがとうございました  
ございました。私のおじいちゃんは長崎県の原爆を  
体験したそうです。私のおじいちゃんはその日普通に  
工場ではたいていて急に光りたしたのであぶないと  
思い工場のカラスに近くない所で自ら耳をふさいで  
なんとか助かったそうです。原爆はとても大変な大変な  
事だと思います。全く罪の無い普通の人間かなぜ  
そんな事をされなければならぬのか分かり  
ません。いつも地面をふみしめて歩いていたのに人  
じたいが粉々にな、てなかなか人がいなくな  
い言うのはとてもこわい事だと思いました。かれきや  
死体ので、きよなど"をやれと言われても、全身やけど  
の人をかつぐ勇氣はありません。数秒前までは生き  
ていた人、それが一瞬間でやけどになり死亡をして  
しまったり、兵の人に助けを求めたりして、ほんの数秒  
の前に生きていたと思われる人がみもとがわからな  
いような人間であるかも分からないくらい……。人間とは  
とてもこわい物です。いっしょう戦争をしないように世界を平和  
にして行きたいです。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/25

この特別授業を受けて、改めて原爆はこわい、と思いました。原爆がこわいことは知っていたけど、くわしくは知らなかったのだから、ためになりました。

私は、太陽より熱いものは、宇宙にある星しか知りませんでした。しかし、この地球に、太陽よりも、1000度も熱いものがあると知りました。原爆は、それほどすごいことなんだ... と思い、ショックを受けました。

人が一瞬間でいなくなるということは、現実として信じられないし、衝撃波が毎秒500mで来るといふことも信じられません。しかし、現実にあったことだから、目をそむけてはいけな、と思いました。

この原爆が投下された時、広島、長崎にいた子ども達のことを考えると、胸がいたくなります。私より小さな子どももたくさんいたはずですが、小さな子どもが、大人でもたえられないような痛みと苦しみにおそわれたのだと思うと、こっぴどまで、辛く、悲しくな、てきます。

「原爆」は、何かあ、っても、どんなことがあ、っても忘れてはいけな、い、 と思、いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

お忙しい中、光塩女子学院にいらしていただき、ありがとうございました。日本で、こんな悲惨なことがおこっていた、と考えるととても胸が痛みます。原爆・8-29などは、存在していたこと、あることは知っていましたが、あまり詳しいことは知らなかったのです。今回池田先生のお話を聞いたこと、感謝しています。

実際に、池田先生のお父様が体験した話であったので、とても代に、何か重いものが乗ったような、そんな痛めつけられました。一瞬で人が消えてしまう、そんなことを聞き、本当に、おどろきました。一瞬で、バラバラになってしまう。「本当なの？」と、疑ってしまうほどです。人間は、他の動物よりも優れています、ですが、すぐに入を傷付けることも、殺してしまうこともできます。私は、みんなが、人間だけのこの優れた能力を、戦争などに使ってほしくないです。世界を平和にするために使ってほしい、だから、まず私が、そうしよう、と思います。今回聞いた、本当にあなたのお話、これを忘れず、そして、これからの世界中の人々にこのことを、伝え、核兵器を無くし、世界を平和にしたい、そう思いました。この原爆によって亡くなられた方の苦しさ、悲しさは、私が今悲しんでいるのとはにならないかもしれませんが、少しでも多くの



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2月25日は、原爆についてのお話を聞かせていただきありがとうございました。私は原爆について今日のお話を聞いてより知識を深めることが出来ました。特におどろいた事は、原爆が爆発した時の爆発地の温度が太陽より熱かったということです。あまりの温度の高さに想像をすることが出来ません。そして、おどろいたことはいくつもあります。それは、ゴルフボール1個分ほどの量のウランがたった1kgだけで広島を1kmで吹き飛ばしてしまっただけのことです。1kgだけでこれだけの力があるならば、もしもあったら日本はどうなるのだろうか...と考えるぞとしました。今日本には原爆だけでなく戦争を体験された方がたくさんあります。だからこそ今戦争についてくわしく知り、その知識を後の世代の人たちへ受けついでいくのが私たちがすべきことです。そして世界で唯一の被爆国である日本が出来ること、すべきこともたくさんあります。二度と同じことをくり返さないために私が出来ることをこれからたくさん考えていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

戦争のことは知っていたけれど、ここまでくわしくは知りませんでした。

太陽より熱い原子爆弾が上空600mにあつたら、とても暑いと思

います。しかも夏だったので暑さはすごかたと思います。私は、真夏の

30℃くらいでとても暑いと感じるから、こんなに暑かたら大変だし、

7000℃なんて想像もできません。原爆から衝撃波と熱線を上から

あびたら、すぐ蒸発して一瞬で消え去ったように見え、その人がいた所は

黒いあとが残ると聞いてびっくりしました。すぐ蒸発して一瞬で消え去った

ように見えるということは、原爆がすごく熱いということの表れだと思

います。形のある体が一瞬で蒸発してしまうほど、原子爆弾の威力はすごい

ということが改めてわかりました。また、爆心地がほぼ真空状態に

なってしまったということは、息をすることもできなかつたのだなと思

いました。被爆した人は、今も苦しんでいるというのを新聞で読んだことがあります。

戦争を体験してない人は、体験した人ほどは悲しくないと思います。

最後の池田義三さんのビデオでも、池田義三さんは後半泣いてしま

いました。思い出すのもつらいのだと思います。このように悲しい人が出な

ためにも、戦争が世界中から無くなった方がいいなと思いました。

戦争について考えるよいきっかけになったと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

/

原爆先生の授業はとても夢中になりました。一切、いつの事  
事なく、戦争の悲惨さを伝えてくださり、戦争、原爆のお  
そろしさか体験したかのようにひしひしと伝えてくれました。  
原爆が落とされた時、爆心地にいた人たちのひび  
は想像を絶するもので、目をそらすことになるような内容で  
した。原爆先生のお父さんは、それを日記につづたといい  
ます。その日記は当時をそのまま語っていて、後世にとても  
役に立つものを書いて下さったな、と思います。また、義三  
さんは、原爆が起った時、トラックがおくれている、  
ドラム缶がつまっていた所によりかかっているだけで、死んで  
いた、という事でした。原爆は人を容赦なく、殺してしま  
う兵器で、もう二度と使用しては行かないのだ、という話を  
聞いた思いました。世界では広島におとされた何千万  
倍の力がある核を保有している国がたくさんあると、  
先生は おっしゃいます。そんな人たちが戦争をはじめて  
核をつかたのなら、世界は大惨事になるでしょう。私は先  
生から聞いた原爆の話を後世につたえ、悲惨さを伝え  
二度とそのような事が起こらぬよう、心掛けていきたいです。  
本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

戦争を知らない私たちが想像していた戦争と、実際の戦争とは、全然違っていました。

何の罪もない人間が国同士の戦いで殺されてしまう。すごく悲しいです。

今までは、戦争についてあまり知らなかったのですが、何とも言えませんが、お話を聞いてから私から見る戦争の視点が変わりました。

戦争は、悲しくてすぐ忘れたいと思いますが、私は忘れたくても忘れられない忘れちゃいけないのが戦争なのではないでしょうか。戦争の体験を“伝える”ということが大切だと感じています。

ゴルフボールほどの大きさの爆弾だけで広島全体が焼け野原になるという話が一番心に残りました。

私はこれまで色んな戦争の本や映像、マンガなどを見てきましたが、いつも考えさせられることは、もし自分が被爆者だったら・・・きっとこれは言葉で表しちゃいけない。上手く表せないです。

これからも戦争について学ぶことがあることでしょう。

その時はこの話を思い出していただきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

戦争を知らない私たちが想像していた戦争と、実際の戦争とは、全然違っていました。

何の罪もない人間が国同士の戦いでなくてせくなってしまう。すごく悲しいです。

今までは、戦争についてあまり知らなかったのですが、何とも言えませんが、お話を聞いてから私から見る戦争の視点が変わりました。

戦争は、悲しくてすぐ忘れたいと思いますが、私は忘れたくても忘れられない忘れちゃいけないのが戦争なのではないでしょうか。戦争の体験を“伝える”ということが大切だと感じています。

ゴルフボールほどの大きさの爆弾で“広島全体が焼け野原になる”という話が一番心に残りました。私はこれまで色々な戦争の本や映像、マンガなどを見てきましたが、いつも考えさせられることは、もし自分が被爆者だったら・・・きっとこれは言葉で表しちゃいけない。上手く表せないです。これからも戦争について学ぶ“ことがある”ことでしょう。その時はこの話を思い出していただきと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話は私の知らないことばかりで"おどろ  
きました。お話が聞けて本当に良かったです。原爆先  
生のお話には、耳をふさぎ"なくなるようなこと、想像する  
だけで"わくわくしてしまうようなもので"した。か"色々な事を学ぶ  
ことが"できました。一番おどろいたのはゴルフボール程度の  
大きさのウラニ"だけで"着弾をはかいて"できるということ。す。  
それと、原爆を落とす候までの着弾が"たくさんあって天候が  
悪かったらあきらめていたということにもおどろきました。全  
ての都市の天候が悪かったら良かったのにもと思います。そん  
に都合良くはいかないと思います。たくさん命が  
失われてしまったこの出来事を後の世代の人たちにも私  
たちの口で"伝えていければ"良いな...と思っています。少  
でも多くの人たちにこの出来事を知ってもらい、二度とこんな  
事が起こらないように私たちも努力しなければ"いけ  
ません。このたくさんの尊い命が失われた出来事について  
改めて考えるきっかけになりました。原爆で"せくなった  
方々の中には私と同じ年の子どももいた"かもしれません。  
そう考えるとこわいです。とても印象的で"心に残るす  
ばらしいお話でした。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生は、原爆は本当に怖いことだということを伝えたかったのだと思いました。池田義三さんが運んだ死体の、死臭はどんなにおいなのかなと疑問に思いました。そして、それに慣れたなんて本当にいやだと思いました。原爆で全身やけどした人たちがうらめしやの、こうをしていたのは皮がこすれるといたいからなんておどろきました。そして、トラックに引張る時に、ズルズルと皮がはがれて肉が見え骨も少し見えたと聞き、なぜか自分のうでも痛くなた気がしました。そして、義三さんが広島県原爆ドームの資料館の人形（うらめしやの状態）を見て「きれいすぎる」と言ったことにおどろきました。あの人形はとてもこわいののにきれいと書いたからです。二度と戦争をしないように未来の人へ伝えていかなければいけないと思いました。原爆先生がお話してくださり戦争のこわさがよくわかりました。





名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私にとって戦争、というものは遠いものです。ニュースや映画で「戦争」について見たり、聞いたりしていますが、「本物の戦争」とはほど遠いです。ですが今日原爆先生のお話を聞いて、戦争がツレ身近に感じられとても怖か、たです。今日は帰りにバスに乗っている時も、おやつを食べている時も「もし、今日戦争になったらどうしようか...」と頭からそのことが離れませんでした。戦争を体験したこともない私がこんなに恐怖を感じているなら、実際に体験なさった方はどんな思いなのだろうと考え、心が痛みました。私は今まで本やビデオなどで「原爆」については知っているつもりでした。しかし、やはりまだまだキチンと知れていないんだな、と思い知らされました。ビデオや本は「資料」であってやはり「事実」とは異なるところが多く出てきてしまいます。人の言葉の方が重みがあると私は感じました。しかし、先生がご執筆なさったという本は読んでみたいのです。今回の特別授業を受講して「戦争を二度と引き起こしてはいけない」という言葉の重みがよくわかりました。私もまず平和を大切にすることから始めていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて改めて、戦争のおそろしさを  
実感しました。原子爆弾を使ったらどうなってしまうのか、  
今保有している国に伝えてくれたらなと思いました。社会  
の時間で非核三原則を習った時は、原爆というものをくわ  
しく知らずに、よくわからないままでした。

先生のお話は、とても怖いものか、多くフィクションだといいな  
と思うようなものもありました。でも、これらを現実と受けとめて、  
私が大人になる時に役立てることかてきますように。  
病気で亡くなる人の命も、原爆の戦争で意図的に殺  
された命もみな同じです。

戦争はもうやめてはいけな、原爆をもう使てはいけな、  
人間が おかた誤ちを二度とくり返さないためにも、小怖くて  
目をさおけたくなるような言ても、多くの人に伝えてい  
べきだと思ひます。

戦争をおこさないために、今の私ができることはな  
らな、できることをたくさんやて、大人になた  
時に、原爆や戦争のない平和な世界を、目指して  
いきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は私たちにお話しくださりありがとうございました。

原爆の話は少し耳にしたことがありましたが、やはり  
実体験者の話となると、私には全く想像ができません  
でした。

原爆は、投下により、広島市と長崎市を一瞬にして、破壊  
してしまいました。両市に太陽の一部を落としたようなもの  
です。もうその時点で頭が追いつきません。さらに、人が  
一瞬で消えてしまうなどということがあつたなんて信じられ  
ません。水の沸点は100℃。ということは、100℃の時点で水は  
蒸発し始め、1000℃までいけばもう一瞬でしょう。けれど、  
原子爆弾は7000℃。そう考えると改めて被害の大きさを  
知らされました。

ゴルフボールくらいの量のウランで市が全壊に近くなるの  
ですから、核ではどうなってしまうのでしょうか？そんな時、  
日本のこの原爆を思い出してほしいです。佐藤首相が  
唱えた非核三原則があるように、原爆だつて二度と  
あつてはならないのです。だからこそ、私たちの世代が  
語り継いでいかなければ、世界平和など一生おとずれ  
ないのではないかと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

「実際はこんなにきれいじゃなかった」。その言葉を聞いて私は思わずきょうげの音を心の中で上げておぼた。話を聞いていくうちに、エノラ・ゲイのおどろきかぜにつまきつきました。一しゅんのうちに消えていった人々、苦しみがら去っていった人々……、その人たち一人一人の希望を深い悲しみに変え、消し去った。エノラ・ゲイは、「絶対敵国を破りたい」という欲であふれていたのではないか、と思いました。また、アメリカの人々も「戦争」によって、人の命よりも富を選び、「人間はみなもとは平等」という決しておかしてはならないことをみな心の中からぬき去り、無情にも容易に人の命をうばうことができるようになってしまったのだと考えました。「原子爆弾が投下された」。その言葉だけでは決して感じ取れない、とてつもない恐怖を老若男女問わずみなか感じたことでしょう。今の私たちにいまきつわからない感情、いくら名が高い人にも決してわからないひばく者・死者一人一人の思い……。私たちには知る由もありません。しかし、今わがっているだけの深い悲しみに包まれたヴェールも勇気を持って上げなければいけません。また同じことがくり返され、より深い悲しみと絶望が二度と言われることか、  
たないようい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう



2/25(水)

私たちに原子爆だんの悲しさを教えて  
くれたりありがとうございました。

もう起こしてはいけない戦争の悲し  
さを改めて感じました。

また、私は恐ろしい戦争がもう二度と起  
ることはないということを目でも確認する  
ことができました。 そのような話を聞き学  
び

貴重な機会を作ってくれたサリ本当に  
ありがとうございました。

多くの犠牲者を出した戦争は  
自分勝手な行動から引き起こされ  
たのです。

たから、私は二度と争いのない世の中を  
作る一員になりたいと切実に思いま  
した。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで、原爆のことはちゃんとわかっていると思っていた私ですが、今回の授業を通して原爆の悲しさをあらためて思いました。実体験したことがない人が書いている教科書は「何月何日に原爆が落とされてた」くさんの人が亡くなった位にしか書いていなかったのでも、実体験した人が書いてある文章は新鮮に感じました。

特に私の印象に残ったのは、原子爆弾が7000℃もあったということ。9月くらいに学校で見たビデオで「夏服の少女たち」というものがあり、そこに出ていた少女たちはみな原子爆弾のことをきれいだねと誇りながら話していました。そんなにおそろいものがちがっているのにそのことを知らないでこの世を去ってしまった少女たちにテレビの甲に入れるのなら危ないよと伝えてあげたかったのですが、そんなことはかなわないことでした。

私は、この平和（小さな戦争もある）な世界に生まれることができたということを神様に感謝したいと思います。本日はためになる授業をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、「7000歳の少年」の特別授業をしていただき、ありがとうございます。ございました。

私は、祖父は早くに他界し祖母は終戦頃に生まれたので、原爆に限らずあまり戦争の話を経験者から聞いたことはありませんでした。ですから今日、先生のお父様の経験をもとに、先生がその場にいらただけで、とても大変なものだったことが分かるような説明をしてくださったおかげで、今後、この話が忘れさられていかないよう、真実を知った私たちが、いろいろな人に伝えていけたら...と思いました。

広島人口35万人の中で、被爆者が24万人。計算すると70%の方がつらい思いをされています。全身にやけどを負った方や、傷口の状態が悪化している方など様々です。想像するだけでもつらいのに、広島平和記念館の人形よりも、もっとひどかったとは、おそろしく想像をすることも、私は少し困りました。しかし、事実を受け取め、これからはその被爆者たちの分まで精一はい生きていきたいです。

貴重な情報、お話、時間をありがとうございます。ございました。今日、教えてくださったことを忘れずに生活していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

授業を受けて、私は改めて原爆のおそろしさを知りました。57000トンの原子爆弾は時速300kmもの速さで上空を飛び、広島までくると思うと、すごい力だと思いました。地面は3000℃、原爆の近くの上空は7000℃にもなっても、人間が原爆の近くにいたら目にもとまらない速さで焼け死んでしまうと思います。広島でなくなった人が人口の40%だと聞いて、広島、長崎、原爆のことを忘れないで、昔こういうことがあったんだ、と人に伝えて、もう絶対に戦争しないと言っている理由をわかってもらいたいです。広島、長崎と原爆が落とされ、中にはアメリカ人なんて許すものかという人もいるかもしれませんが、でも、今の日本もアメリカ人の支えあっての日本だということも忘れないでいてほしいです。許されないことですが、日本も戦争をしていたのですから、互いにその事を忘れずに生きて、平和な関係をきずくことができるといいなと思います。今回は授業をしてくださり、本当にありがとうございました。今はせき、広島・長崎の人々のご冥福をお祈りしながら、平和で笑顔のたえな、世界になりますようにと願っています。





名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/25

今回は特別授業をしてくださり、ありがとうございました。私が一番しょうげき的だったのはあの3分間のビデオです。その悲さんさ、そしてこわさに思わず目をおおいたくなりました。ビデオはとても生々しく、原爆の爆発のしゅん間の白い光はそこにいたすべての人の命をうばってしまいました。原爆を体験した人の気持ちも心の奥底からわかることはできないけれど戦争、そして原爆には反対だと訴えることは私たちでもできると思うので少しでも協力できたらと思います。

原爆先生の授業によって原爆を見る目がかかりました。今までほとんどにかく原爆は悲さんなもの、くり返してはいけないものだとしてか思っていました。しかし、授業を受けてからはその思いが、と強くなり、悲さんだというひと言では片付けられないものだということがわかりました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今回は、先生のお父様の昔の事、原爆の事をくわしく、また、ていねいに教えてくださって、ありがとうございました。

「7000℃の少年」。1945年に、広島・長崎に落とされた原子爆たん。どのようにして、実行されたか、先生のお話で前よりも、わかったと思います。

広島に落とされた原子爆たん、リトルボーイ。

大きさは3.2m、重さ約5tの大きな原子爆たんが落ちた、と知った時、私はとてもびっくりしました。

こんなに大きくて、重い、原子爆たんが落とされたんだ、と思うと、みさいされた方がかわい

そうに思えます。私は去年、広島にある、原爆ドームと資料館に行きました。その時と同様に、原爆の話を知ると、なんでこんな悲しい事をするのか、かなしい気持ちになります。

中心が、100万℃、表面が7000℃の大陽より熱いものが空からいきなり、落ちてくるなんて、今は、想像できません。もう、こんな事がないように、願っています。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

一口に原爆といっても、原爆にはたくさん  
の人の気持ちがかたまっていることを改めて  
感じました。

今回の主人公は原爆先生の父義三さんで  
した。

その人の事を原爆先生は色々話してくれまし  
た。17才で軍隊に入った事やその頃の広島に  
は墨のように真っ黒に汚れた、生きてるか  
死んでいるかわからない人がたくさんいた  
ということ。今でも思い出すと寒気がしますが  
それが逆に本当にあった出来事だったんだと物語  
っていてぞくぞくとします。

私は原爆があった1945年には生きていませんし、  
私の親族で原爆を体験している人はいませんが  
今日のことは私にとってすごく感じるものがあったので  
両親や祖父母に話してあげたいと思いました。

すごくタメになる話で、またききたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/24

原爆先生 今日の特別授業ありがとうございます。

原爆については、社会や、図書館にあたりはだしのケン  
で読みました。原爆の作り方をどくわしく教えて  
もらい、より知識が広がりました。また、先生のお父様  
の体験のお話も、今も心に残っています。その時は  
すくなくわがたです。でも、改め戦争はこわいと  
思、たし、人を殺す人もこわいと思、りました。私は、  
原爆を体験したわけでも、ありません。でも、今日  
話してもら、た事をこれから私か話した  
い、です。今、世界はみんなが原爆などの兵器を  
持、ています。これから未来は進む秘達か、平和な  
世界にしていきたいです。今日は、ありがとうございます  
ざ、いました。そして、これからも、か、は、て、く、た  
さい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生<sup>じゅこう</sup>の特別授業を受講して

表

今回は、原爆についてのお話、ありがとうございました。  
一番心に残っているのは、原子爆弾が落とされた時の「熱線」、「衝撃波」、「放射線」のお話です。  
特に、熱線のお話は、とてもおどろきました。太陽が地球表面温度は6000℃なのに、それよりも、さらに1000℃以上高いものが、東京スカイツリーの高さにあたらう...そう考えると、やはり原子爆弾は、恐いものだとあらためて思いました。他に、ゴルフボールくらいのウランだけで、広島が、とても大きな被害を受けた、ということも、おどろきました。手にす、ぽりと、おさま、てしまうゴルフボールくらいの大きさで、それだけの被害が、でたならば、それのさらに60倍、60kgものウランが落ちてきたら、どうな、てしまうのか、予想もつきません。  
一瞬で、たくさんの方の大切な命をうば、てしまった原子爆弾は、もう二度と、使、てはいけな、いと思うし、原子爆弾だけでなく、今、世界のいろいろな所で、おこ、ている戦争も、なくすべきた、だと思、っていました。  
原爆について詳しくは知らな、か、た、けれど、今回のお話で、考え、てみる、き、かけ、となりました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/25

今回、原爆先生の授業を受講して、もう二度と核を作ってはいけないと心から感じました。そして、原爆投下によって灰色の世界となった広島町の様子に圧倒されました。

当時の人々の様子を想像するだけで体がぞくぞくとしました。

そんな中でも生きのびることができた方々は本当に幸運だ

と思います。先生のお父様・池田義三さんが、ひどい目に合わ

されながらも、自分の身を守りつつ、周りの人々を助けようと

する前向きな姿勢が今にも頭に浮かんできます。

世の中ではちょっとした小さな発想から大きな出来事へと

くり広げられてしまうことがたくさんあります。この第二次世界

大戦も、単純に言えばそのようなものではないでしょうか。な

ぜなら、日本の真珠湾を支配したいという考えから、大勢の

人々の命を落とすような事態にまでなってしまったからです。

そう考えると、何の悪い行いもしていないのに突然、命を落と

してしまった人たちがとてもかわいそうに感じ、それと同時に、

日々、平和で暮らしていけるということにも感謝の気持ちがあ

わいてきます。原爆が投下されたこと、これは人々において、

決して忘れてはならない出来事であり、世界中に伝えるべき

だと思います。人類には、人と人々が互いに支え合って生きる使命が



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今日は、原爆のお話をしてくださって、ありがとうございます。

ものすごくたくさんのお話をくださったので整理してみると、今回特に心に残ったことがいくつかありました。

1つ目は、原爆投下された日の広島市内の様子についてです。ひ爆された人々の生々しい姿が言葉だけではとても伝わり、来て印象に残りました。

2つ目は義三さんの「きれいすぎる」という言葉です。私も原爆資料館に行き、あの入閤を見て、とても恐怖を感じましたが、あれでもきれいなんて、本物はどんな感じなのか想像が付きません。

今回の授業で、改めて平和のすばらしさ、大切さを実感し、そしてもう戦争はしてはいけない、ということを確信しました。この戦争は原爆のことを風化させてはならないので、今回伝わったことをまた他の人にも伝え、風化を防ぎ、今の日本の平和を保ちながら、世界平和に向けて考えていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/25

今回は、90分間にも渡り、原爆についてお話してくださってありがとうございました。私は広島に行ったことがなく、原子爆弾についても、あまりくわしくは知りませんでした。ですが、特別授業を受け、当時のことを聞き、今まで知らなかったことがたくさんあり、恥ずかしくなりました。日本は、世界で唯一の被爆国であるのに、日本人である私か、知らないのは、おかしいことです。ですから、今回お話を聞いて良かったです。ですが、お話してくれたごった内容の中には、正道耳をふさいでいたようなものもありました。原爆でせくなっていた方は、どのように思っていたのか、どれほど辛かったのか、今を生きている私にはわかりません。それでも、当時の人たちのことを想い、考え、そしてなにより、次世代の人に伝えていくことが大切だと思いました。原爆でせくなった人たちはもう二度と帰ってきませんが、こんなことが、この先絶対に起きないようにして、あのようなことでせくなる人が、もうないように、事実から目をそらすず、向き合っていくように思いました。